

太宰府市俳句ポスト第百二十八回入選者

令和七年八月二十日〜令和七年十一月十一日

入選句

選者 阿比留 初見

瀬の音に衝ける一息秋の風	筑紫野市	笹倉 裕子
きつちりと主役こなして七五三	福岡市	白井 道義
外灯の上にぼんやり夏の月	太宰府市	西元 治雄
遊園地子らの叫びと蟬しぐれ	東京都	平竹 進
宮詣終へし川辺のゑのこ草	福津市	柴田 佳津子
神苑の木の間木の間の曼珠沙華	太宰府市	吉田 秀子
秋晴や歩く地藏堂までの道	北九州市	永岡 正行
神苑の風受け止めし芭蕉の葉	糟屋郡	芳野 加代
虫の声聞けば闇夜の闇ならず	大野城市	岡井 由里
太宰府の歴史に愛を誓ふ秋	東京都	安田 一陽
都府楼の空一面の赤とんぼ	千葉県	池田 陽太
さつとよき川風のきて小鳥きて	筑紫野市	村田 芳花
末娘言ひ訳多き夏休	福岡市	飯田 智之
汗にじむ君の背がまた近づいて	神奈川県	寺内 惟広
柿紅葉触れむばかりの茶屋床几	太宰府市	中島 祝乃
ぎんなんをふまずにゆこうもくてきち	福岡市	山喜多 桃
朱のとりいもみじにはさまれならんでる	熊本県	新開 紗那
大宰府の歴史とふれあう秋の旅	広島県	藤原 海月
秋の杜七百年のおいなりさん	広島県	小前 心依智
風鈴に願いを込めて音ならず	熊本県	牛嶋 歩奏